# 2019年度第4回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会
# 議事概要

**日時：**2019年9月10日（火）15:30～17:30
**場所：**関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス図書館2階　会議室
**出席者（敬称略、順不同）：**

| | | |
|---|---|---|
| 大阪大学附属図書館 | 井上敏宏 | |
| 関西学院大学図書館運営課 | 服部耕一郎 | |
| 京都大学附属図書館 | 吉田幸苗 | |
| 神戸大学附属図書館 | 山崎真知子 | |
| 福知山公立大学総務企画・財務グループ | 足立斉 | |
| 神戸市看護大学経営管理課 | 井上牧子 | |
| 立命館大学学術情報部図書館学術情報課 | 藤井潤二 | |
| 京都文教大学図書館 | 野々山功一 | |
| 神戸松陰女子学院大学図書館事務課 | 加川みどり | 以上9名 |

**欠席：**

| | |
|---|---|
| 阪南大学研究部図書課 | 堤俊哉 |

**配付資料：**

| | |
|---|---|
| 資料1 | 第4回能力開発専門委員会開催通知 |
| 資料2 | 2019年度大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会（第1回）議事の確認 |
| 資料2-1 | 議事次第 |
| 資料2-2 | 「大学図書館近畿イニシアティブ」組織構成図 |
| 資料2-3 | 2020年度以降の大学図書館近畿イニシアティブ研修会場について |
| 資料3 | 第3回能力開発専門委員会議事概要の確認 |
| 資料4 | 2020年度「初任者研修」について |
| 資料4-1 | 各委員の意見 |
| 資料4-2 | 研修日程案 |
| 資料4-3 | ワークショップ講師について |
| 資料4-4 | 大学職員の意見 |
| 資料4-5 | 印刷会社の比較 |
| 資料4-6,7 | 役割分担と準備資料について |
| 資料5 | 第5回能力開発専門委員会開催日の検討について |

議題

１．第 4 回能力開発専門委員会開催について

足立主査から資料 1 に基づき、能力開発専門委員会（以下「本委員会」と言う。）の開催を確認した。

２．2019 年度大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会（第 1 回）議事の確認

１）議事について

足立主査から資料 2-1 に基づき、本年 7 月 30 日に京都大学附属図書館で開催された標記委員会について説明があり、内容を確認した。本委員会関連事項として、大学図書館近畿イニシアティブ（以下「近畿イニシア」と言う。）運営委員会では、年号表記を西暦に統一する旨の報告があり、本委員会でも今後は西暦表記に統一することを確認した。

２）「大学図書館近畿イニシアティブ」組織について

足立主査から資料 2-2 に基づき、近畿イニシアの組織現況について説明があり、内容を確認した。

３）2020 年度以降の大学図書館近畿イニシアティブ研修会場について

足立主査から資料 2-3 に基づき、標記にかかる依頼文について説明があり、既に近畿イニシア運営委員会事務局から本年 8 月 29 日付にて同運営委員会委員に通知された旨の報告を確認した。

３．第 3 回能力開発専門委員会議事概要の確認

足立主査から資料 3 に基づき、前回の議事についてはすでに確定し、公開済みである旨、説明があった。

４．2020 年度「初任者研修」について

１）各委員の意見

各委員から資料 4-1 に基づき、初任者研修実施に向けた意見の説明があり、研修内容について協議した。

２）研修日程案

足立主査から資料 4-2 に基づき、初任者研修実施内容案の説明があり、講義等の内容について協議した。研修の開催時期は 5 月下旬とするが、会場にもよるため、会場の検討と合わせて引き続き検討することとした。主な決定は以下のとおり。

(1) アイスブレイク：原案どおり

(2) 閲覧・ILL・レファレンス業務：主な内容は前回初任者研修を踏襲する。講師候補については吉田委員から照会し、本人の内諾がとれた場合は、講師担当が時間等を相談する。

(3) 資料収集業務：近年は資産管理の在り方が多様化し、機関毎の独自ルールが多いため、原則実施しない方針とした。

(4) 目録業務：主な内容は、従来からの目録業務及びCAT2020関連事項など。講師候補については加川委員から照会し、本人含め上司の内諾が得られた場合は、講師担当が内容及び時間を相談する

(5) Webサービス：内容は前回初任者研修を踏襲する。講師候補については吉田委員から照会し、本人含め上司の内諾が得られた場合は、講師担当が内容及び時間を相談する。

(6) 情報リテラシー：主な内容は学生を集める工夫から、図書館での情報リテラシー教育を経て、最終的に学習に役立てる一連の流れを主とし、必要に応じてグループワークを取り入れることも検討する。講師候補については山崎委員からから照会し、本人含め上司の内諾が得られた場合は、講師担当が内容及び時間を相談する。

(7) 電子リソース管理業務：講師候補については吉田委員が「大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）」の事務局から適任者を推薦いただくよう依頼し、主な内容及び時間は講師と講師担当が相談する。

(8) 質疑応答は講義時間内に収める。

(9) 研修の終了時刻は17時頃とし、早過ぎず、遅すぎないよう配慮する。

(10) 館内自由見学は二日目の閉会後とする。

### ３）ワークショップ講師について

足立主査から資料4-3に基づき、講師内定者について説明があり、内容を確認した。

### ４）印刷会社の比較

足立主査から資料4-5に基づき、標記について紹介があり、以下の補足等があった。

(1) 山崎委員から、株式会社プリントパックにて作成した冊子が回覧された。

(2) 加川委員から、他にラクスル株式会社もあると紹介があった。

(3) 野々山委員から、これらの会社は概ね、発注から納品までの期間により値段が変動する旨の補足があった。

### ５）役割分担と準備資料について

足立主査から資料 4-6 に基づき、次年度初任者研修における役割分担について説明があり、各担当について検討した。協議の結果、以下のとおり役割を決定した。なお、会場担当及び会計担当一名については、会場が決定した後、検討することとした。

・　運営委員会連絡担当：足立

・　会計担当：吉田・（未定）

・　講師担当：藤井

・　研修者担当：服部・加川

・　会場担当：（未定）

・　配布資料担当：井上敏宏

・　情報交換会担当（当日）：堤

・　受付担当（当日）：吉田・山崎・野々山

・　司会担当（当日）：堤

・　記録担当（当日）／写真：野々山／マイクランナー：加川・山崎／タイムキーパー：井上牧子

・　アンケート担当（当日）：井上牧子

## ５．第５回能力開発専門委員会開催日の検討について

足立主査から資料５に基づき、次回の本委員会の開催について説明があり、時期と会場について検討した。主な決定事項は以下のとおり。なお、第６回委員会を来年１月に開催する可能性があることを確認した。

(1) 時期は、本年 11 月中旬から 12 月上旬までを対象とする。

(2) 会場は、京都文教大学が加盟する大学コンソーシアム京都のあるキャンパスプラザ京都（JR 京都駅前）を第一候補とし、阪南大学を第二候補とする。

(3) 次回以降の本委員会配付資料の作成は担当毎に行い、必要部数を持ち寄る方式にする。

## ６．その他

吉田委員から口頭にて、近畿イニシアの財源から専門委員会出席者に旅費を負担いただくことを近畿イニシア運営委員会事務局にご検討いただくため、本日の出張に際し、所属機関から各委員に支払われる金額について、情報提供の依頼があった。

各委員は、金額が判明し次第、吉田委員に連絡することとした。

以上